

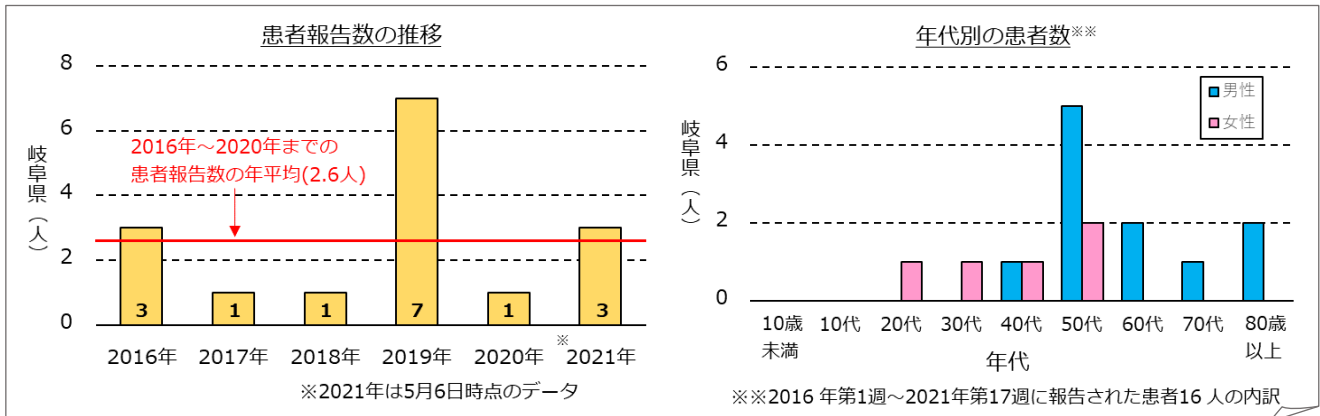
ぎふ感染症かわら版

令和3年5月21日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）



E型肝炎に注意しましょう！

2021年第15週以降、岐阜県内でE型肝炎の発生報告が続いています。**第17週の時点ですでに過去5年間平均の2.6人を上回りました。**今後さらに患者発生報告が続く恐れもあることから注意が必要と考えられます。



E型肝炎って、
どんな病気？

E型肝炎はE型肝炎ウイルスによって引き起される消化器系の感染症であり、特に妊婦や高齢者に注意が必要と考えられます。大半の症例では安静を保つことにより治癒しますが、稀に劇症化して肝不全を引き起す場合があります。妊娠晩期に感染すると劇症化しやすいとの報告もあります。また高齢者ほど重症化しやすいとされています。その主な症状として発熱、悪心、腹痛等の消化器症状が挙げられ、多くの場合黄疸を伴います。

E型肝炎ウイルスの感染に注意が必要な人

◆ 妊婦 及び 高齢者



どうやって
予防すればいいの？

E型肝炎ウイルスの感染経路は経口感染であり、ウイルスに汚染された食物、水の摂取により感染することが多いので、**予防には手洗い、飲食物の加熱が重要です。**加熱調理の際には中心部まで火が通るよう十分に加熱してください。また、豚レバーをはじめとする豚肉や、イノシシやシカなど野生動物の肉類については生で食べないようにしましょう。また、国外のE型肝炎流行地域へ旅行する際は、事前に現地の情報を収集してください。

- 石けんを使った手洗いをおこないましょう。
- 加熱調理の際には、中心部まで火が通るよう加熱してください。
- 豚肉（豚レバーを含む）や野生動物の肉類は生で食べないようにしましょう。



保育所や幼稚園、高齢者施設など、希望される施設に対して「ぎふ感染症かわら版」のメール配信もおこなっています。くわしくは岐阜県感染症情報センターホームページをご覧ください。

岐阜県感染症情報センター

